

	講 座 名	日 程	受講者数
小 学 校 (小・盲・聾・養)	小学校教育学 (1班)	7月3日 ～7月5日	21
	〃 (2班)	7月24日 ～7月26日	25
	小学校道徳	9月9日 ～9月11日	25
	小学校特別活動	7月29日 ～7月31日	26
	小学校地区別理科現地 (県北)	5月13日 ～5月14日	16
	〃 (いわき)	5月16日 ～5月17日	15
	〃 (相双)	5月23日 ～5月24日	14
	〃 (県南)	5月30日 ～5月31日	12
	〃 (県中)	6月6日 ～6月7日	19
	〃 (会津)	6月13日 ～6月14日	16
〃 (南会津)	6月26日 ～6月27日	10	
(中・中・盲・聾・養)	中学校道徳	7月31日 ～8月2日	25
	中学校特別活動	11月11日 ～11月13日	25
	中学校理科	7月31日 ～8月2日	21
	中学校技術・家庭科「情報教育」(前期)	6月19日 ～6月21日	30
	〃 (後期)	9月25日 ～9月27日	30
高 等 学 校 (高・盲・聾・養)	中学校オーラル・コミュニケーション	10月30日 ～11月1日	31
	高等学校芸術科(音楽)実技	11月25日 ～11月27日	15
	高等学校芸術科(美術・工芸)実技	11月27日 ～11月29日	8
	高等学校オーラル・コミュニケーション	10月7日 ～10月9日	30
	高等学校理科(物理・化学・地学)	9月25日 ～9月27日	14
	高等学校理科(生物)	8月28日 ～8月30日	10
	高等学校家庭科情報教育研修(前期)	9月9日 ～9月11日	12
	〃 (後期)	11月25日 ～11月27日	12
	高等学校家庭科実技	11月18日 ～11月20日	11
	高等学校理科実習助手実技	9月11日 ～9月13日	15
高 等 学 校 情 報 教 育	汎用機言語 I	7月2日 ～7月5日	10
	汎用機言語 II	9月10日 ～9月13日	9
	パソコン言語	6月24日 ～6月27日	22
	CAI	1月7日 ～1月10日	16
	CM I	9月30日 ～10月3日	29
	応 用	10月22日 ～10月25日	15
学校カウンセラー (初級)	7月22日 ～7月24日	64	

③ 専門研修Ⅲ

	講 座 名	日 程	受講者数
専 門 研 修 Ⅲ	学校経営 (A) (前期)	5月29日 ～5月31日	31
	〃 (中期)	7月29日 ～7月31日	31
	〃 (後期)	12月24日 ～12月26日	29
	学校経営 (B) (前期)	6月19日 ～6月21日	31
	〃 (中期)	8月28日 ～8月30日	30
	〃 (後期)	1月20日 ～1月22日	31
	教育研究法 (前期)	6月3日 ～6月5日	33
	〃 (中期)	8月21日 ～8月23日	34
〃 (後期)	1月22日 ～1月24日	34	

第3節 教育研究

1 学校の活性化を目指す教員研修

教育経営部
教育改革が進む中で、教員の資質、能力の向上が強く求められている。その現状を踏まえ、教師の深い専門性に裏付けられた指導力、実践力を培う教員研修の進め方について、県内の小・中・高等学校数校から実情を聴取し、8つの視点から分析して、学校の活性化を目指した教員研修の在り方について模索してきた。

2 「学力到達度調査に関わるテスト」による学力分析

(学力向上に関する研究プロジェクト委員会事務局)
学習指導部

(1) 研究の趣旨

平成7年度、本教育センターでは「学力到達度調査事業」を実施し、県内の小・中学生の学力を、教研式・全国標準診断的学力検査(NRT)で調査分析した。

平成8年度の本研究は、この事業を踏まえて児童生徒のつまずきの実態を答案分析を通してさらに詳細に調査し、より具体的に問題点の解明に努めてきた。また、その結果については、本教育センターにおける教科研修講座で活用し、学力向上に関する指導の改善に資したい。

(2) 調査の概要

① 「学力到達度調査に関わるテスト」の作成

NRTから明らかになった本県の児童生徒の学力到達度の低い部分を中心に、教科の特性その他を配慮して作成した。記述式問題を多く設定し、思考のプロセスや解答の手順からつまずきの原因を分析できるよう工夫した。

② 「テスト」の対象学年・教科

小学生は、6年生を対象に、5年の内容で国語と算数について、また中学生は、3年生を対象に、2年の内容で国語、数学、英語についてそれぞれ実施した。